

くしろ エコ・フェア 2013で 森林環境教育を実践

6月8日、釧路市こども遊学館で、「くしろエコ・フェア2013」が開催されました。このエコ・フェアは「環境月間」の6月に開催されており、今年は24の団体・個人が、各種展示や実演などの様々な企画を用意し、市民との交流を深めました。

当ふれあいセンターでは、「森林からの贈り物でいろいろなものを作ろう！」と「つみっき〜で遊ぼう！」の二つの企画を準備し、森林や木に関心を持ってもらう機会を提供しました。

「森林からの贈り物でいろいろなものを作ろう！」では、ミズナラなどの輪切り板を土台に、アカエゾマツ・カラマツなどの松ぼっくり、小さい輪切りや枝等の特徴を活かし、これらを上手に組合わせて、思い思いの作品を作りました。当日は、予定を超える67名の参加があり、ふれあいセンターのブースは、常時、満席の状態でした。

また、「つみっき〜で遊ぼう」では、積み木をドミノに見立てて並べて、積み木倒しを行ったり、バランスを考えながら高く積み上げたり、多くの人に木の感触を味わってもらうことができました。

くしろエコ・フェアは、2006年に「釧路の環境を考える日」として始まり、今年で9回目を迎えました。この取組みが、地域の人たちの心に残り、環境について家庭や職場で考えるきっかけになればと思います。



▽ 工作の様子



▽ 完成した作品の様子